

(2011-2012年度)

第1回東日本大震災復興支援対策本部会議要録

◎ 日 時: 2011年8月26日(金) 13:00-15:00

◎ 会 場: 日本ライオンズ連絡事務所(東京都)

◎ 出席者:

本部長(国際理事)	山浦 晁暉	副本部長(国際理事)	高田 順一
監事(国際理事)	秦 従道		
330 複合地区協議会議長	小峰 理孝	331 複合地区協議会議長	井ノ浦 義明
332 複合地区協議会議長	宮田 謙	333 複合地区協議会議長	萩原 光義
334 複合地区協議会議長	岡本 正治	335 複合地区協議会議長	新宅 元之
336 複合地区協議会議長	迫越 正彦	337 複合地区協議会議長	椿 幸雄
332-A地区第一副地区ガバナー	外崎 勲	332-B地区ガバナー	高橋 晴彦
332-C地区第一副地区ガバナー	佐藤 義則	332-D地区ガバナー	久保田 善九郎
332-E地区ガバナー	野川 亘	332-F地区ガバナー	照井 一美

オブザーバー:

相談役(元国際理事) 不老 安正

グローバル・アシストチーム 桜井 孝一 監査役(公認会計士) 吉田 宗一郎

山浦本部長による開会の後、議事に先立って本日の会議運営について説明あり。332-A地区ガバナーおよび332-C地区ガバナーは公式訪問のため欠席され、委任状により第一副地区ガバナーが代理出席された。

◎ 議 事:

1. 山浦本部長挨拶と出席者自己紹介

山浦本部長からの挨拶と各出席者の自己紹介あり。

2. 組織全体の確認(名称・構成)

組織名称は『東日本大震災復興支援対策本部』とする。構成は別紙1のとおり。本部長・副本部長・監事、8名の議長、6名のMD332内地区ガバナーとする。構成の枠外には、相談役・グローバル・アシストチーム・監査役を加える。各MD332の地区内にはそれぞれ会計士など専門のメンバーに監査役となつていただく。山浦本部長からLCIFカサンドラ・バード人道支援課長に本組織表が提出されており、すでにLCIFの承認を得ていることが報告された(2011年8月24日付けバード課長書簡配付)。

3. LCIFからの通達文書の確認

前年度および今年度議長会にて配付・説明済み文書の確認

- (1) 2011年4月21日付けレベッカ・ティール・ダウ部長書簡(LCIF一般指示および基準書)
- (2) 2011年4月25日受信 マーズ課長原稿(被災地個人財政支援プログラム運用手続き)
- (3) 2011年5月30日受信 カサンドラ・バード課長書簡(個人財政支援プログラム申請書・指定献金送金についての活動報告書の提出、今後の被災地支援)

(4) 2011年7月13日付けカサンドラ・バード課長書簡(2011-2012年度復興委員会構成、奨学金プログラム提案の手続き)

4. 義捐金関係

(1) 前年度義捐金申請と決裁手順について説明あり。今年度は山浦本部長、高田副本部長、MD335 新宅議長の3名が決裁を担当する。

(2) 会計報告

①「日本ライオンズ東日本大震災義捐金口座」累計報告(2011年3月11日～8月18日現在)および口座入出金記録一覧の確認。

※口座名義人は本年度議長会世話人「宮田謙」に変更届を済ませている。

②MD332/MD333へ送金済み一時金の使途報告と領収証未提出分の確認。送金済みの一時金のうち領収証がLCIFへ提出されていない分は、各MDまたは各地区より早急に提出していただく。

③前年度サポートチーム(緊急支援物資)明細の確認。証憑類はLCIFへ送付済み。

④LCIF特別財政支援・クラブ復興支援状況の確認。

⑤申請保留分(チームひろしま災害ボランティアのLマーク入りキャップ、タオル、シール代補助)の確認。本年度決裁に回すよう指示する。今回ライオンマーク使用に関してロイヤリティが発生した件について、今後は震災復興関連について特別に無償でマークが使用できないか国際本部に照会することにした。

5. 今後の復興支援

(1) 中・長期プログラム

①2011年8月26日付け332-C・B・D・A・E・F地区ガバナー連名による「被災地に対する災害復興支援の方策について」書簡2枚が配られ、久保田332-D地区ガバナーより説明あり。被災地自治体の情報協力を得て、支援担当を県別に割り付け、岩手県(MD331・336)、宮城県(MD335・334・337)、福島県(MD330・333)とする提案は、MDからの支援が偏らないようにしてほしいとの理由による。クラブ同士で行っている支援は弾力的に考えて進めてもらう。

②MD332奨学金プログラムについて、秦監事より、LCIF交付に関係なく、MD332としてすぐに始めたいとの説明あり。第2回議長会に提出された資料を各MDに持ち帰り、検討することを確認した。

③2011-2012年度上半期同様に被災クラブへの下半期国際会費を免除していただきたい旨、国際理事会へ提案する。

(2) 海外からの支援申し出への対応について

グローバル・アシストチームの桜井元議長から、ボシュロム・ジャパン株式会社からの10万ドル支援(被災地でのアイヘルス関係)およびデンマークのクリステンセン国際理事からおもちゃのレゴ・ブロック寄付申し出の報告あり。ボシュロム社(Bausch & Lomb, Inc)の概要やこれまでの打合せの経過報告が配られた。

(3) その他

承認された事業や活動報告を議長会ホームページやライオン誌に掲載し、広く一般に公開する。

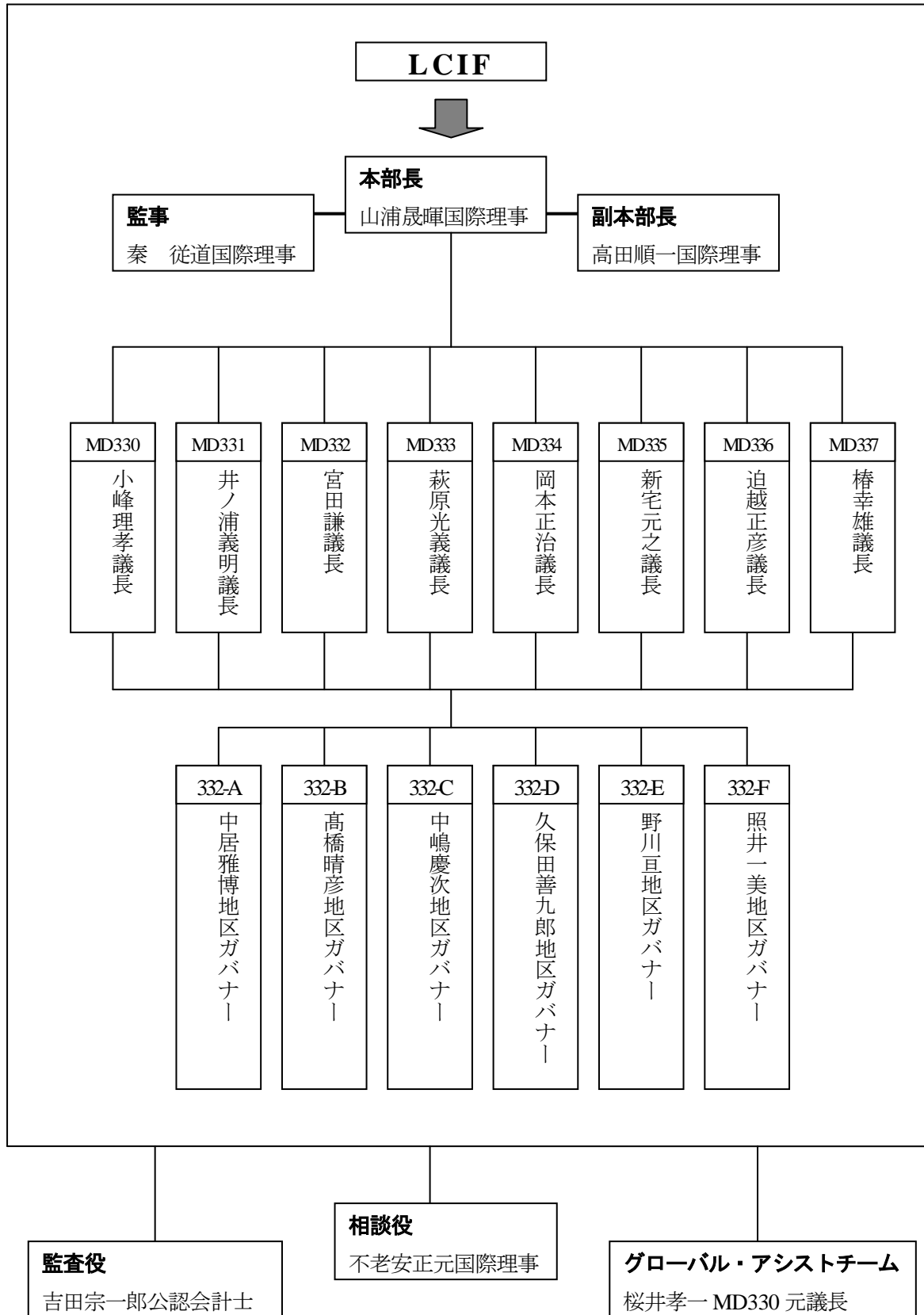
また、震災直後に緊急に支援された物資のたまかな内訳(お米、ミネラル・ウォーター、下着その他の数量など)や支援を受けた一般の被災者の声を集めて、LCIFへ報告する。

6. 次回会議

第2回復興支援会議: 2011年10月14日(金)14:00-16:00 日本ライオンズ連絡事務所
(同日 11:00-13:30 第3回議長会議)

以上

2011-2012 年度東日本大震災復興支援対策本部（全日本）組織構成表



★各地区共、会計監査（可能な限りメンバーの会計専門職の方）に監査役として就任して頂く事を要請します。